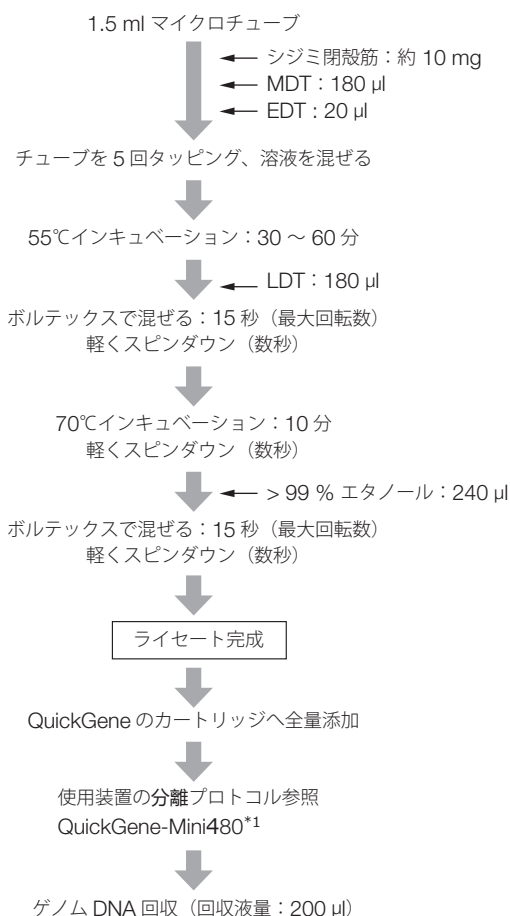


## シジミからのゲノムDNA分離

## ■ プロトコル



\*1 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

## ■ 結果

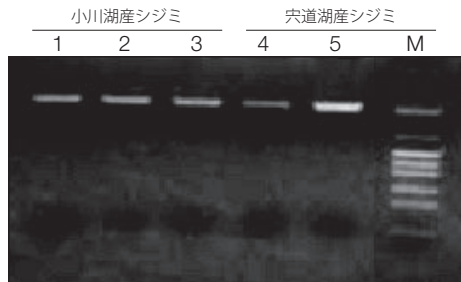
- 電気泳動図  
データなし
- ゲノム DNA の収量  
データなし
- タンパク質の混入 : A260/280  
データなし
- カオトロピック塩の混入 : A260/230  
データなし

■ その他

● QuickGene システムを用いて分離した mtDNA で行った PCR

(EDT 処理時間の検討実験)

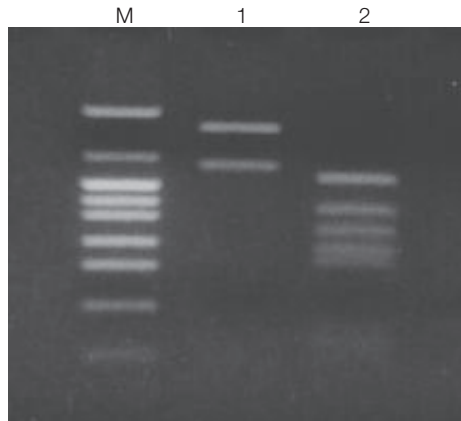
QuickGene システムを用いて、10 mg のシジミ閉殻筋から分離した mtDNA で、COI1 - 16SrRNA にかけての約 5Kbp をターゲットに PCR を行った。



M : pHY マーカー (TAKARA BIO INC.)  
1,4 : EDT 処理 10 分  
2,5 : EDT 処理 30 分  
3 : EDT 処理 60 分

● QuickGene システムを用いて分離した mtDNA に対し PCR を行った後の制限酵素切断

QuickGene システムを用いて、10 mg のシジミ閉殻筋から分離した mtDNA で、COI1 - 16SrRNA にかけての約 5Kbp をターゲットに PCR を行った後、制限酵素 (*Msp* I) 切断を行った。



M : pHY マーカー (TAKARA BIO INC.)  
1 : 宍道湖産ヤマトシジミ  
2 : 淡水シジミ

QuickGene システムを用いてシジミ閉殻筋から分離した mtDNA で、シジミ種を判別できた。

■ 共通プロトコルサンプル

稚魚